

表1 診療経過

経過(病日)	体温	所見	治療
初診(第1病日)	40.6°C	元気消失、食欲不振、 左右肺胞音粗励	補液、抗生物質投与
第2診(第3病日)	40.7°C	症状改善せず	同上(抗生物質変更)
第3診(第4病日)	40.8°C	症状改善せず	同上
第4診(第5病日)	40.3°C	両頸静脈の怒張確認	同上 (胃内存置用磁石投与)
第5診(第6病日)	41.3°C	左右心臓付近で拍水音聴取	同上
第6診(第9病日)	42.1°C	症状改善せず	同上(抗生物質変更)
第7診(第17病日)		斃死	

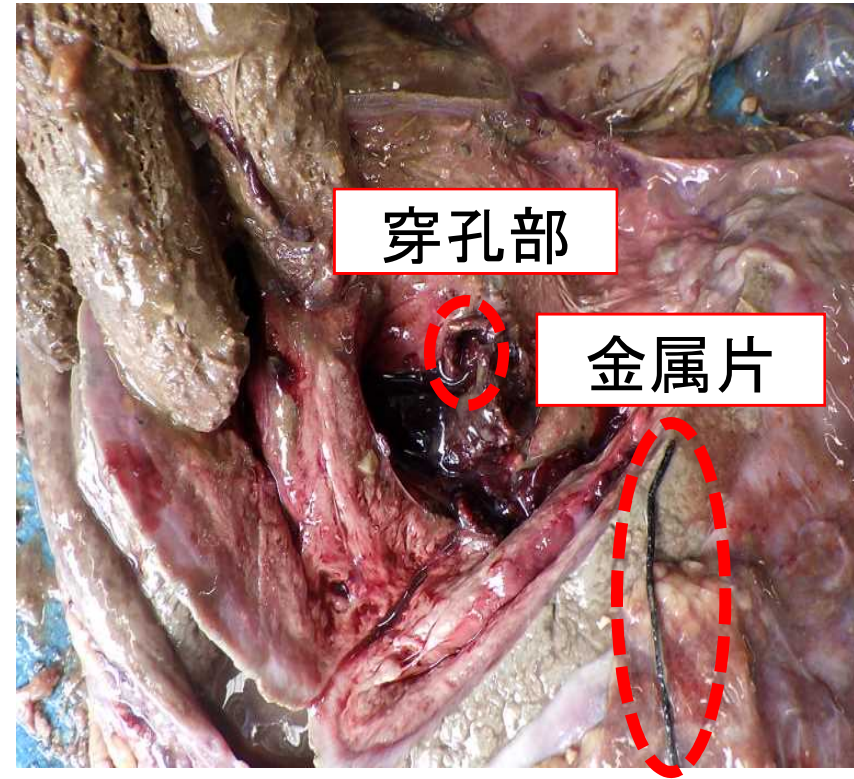
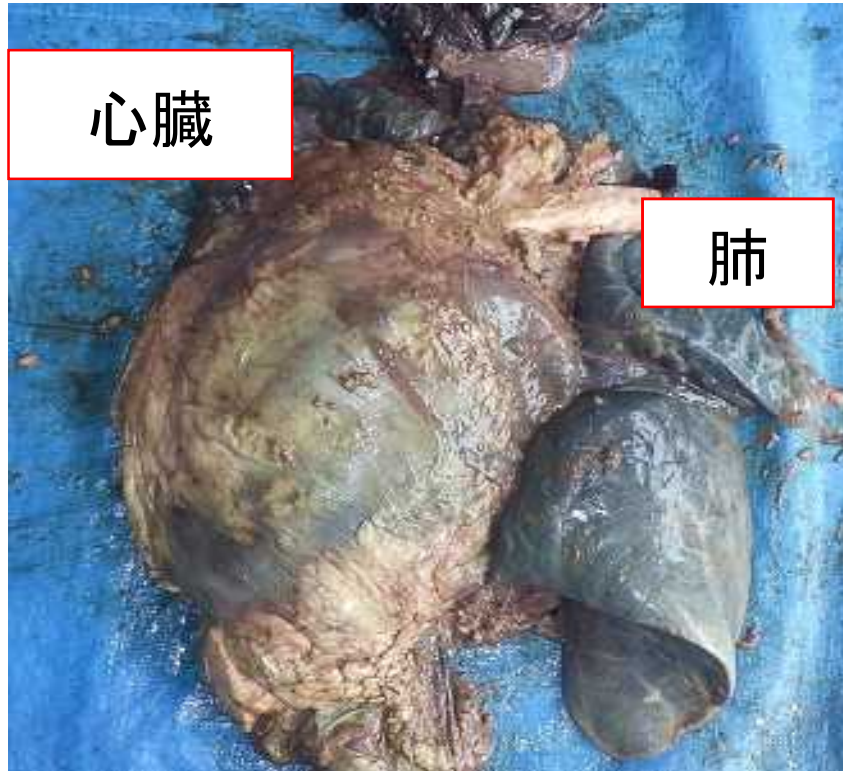


図1: (左) 斃死牛の心臓・肺の解剖所見
(右) 左心室内の穿孔部および金属片

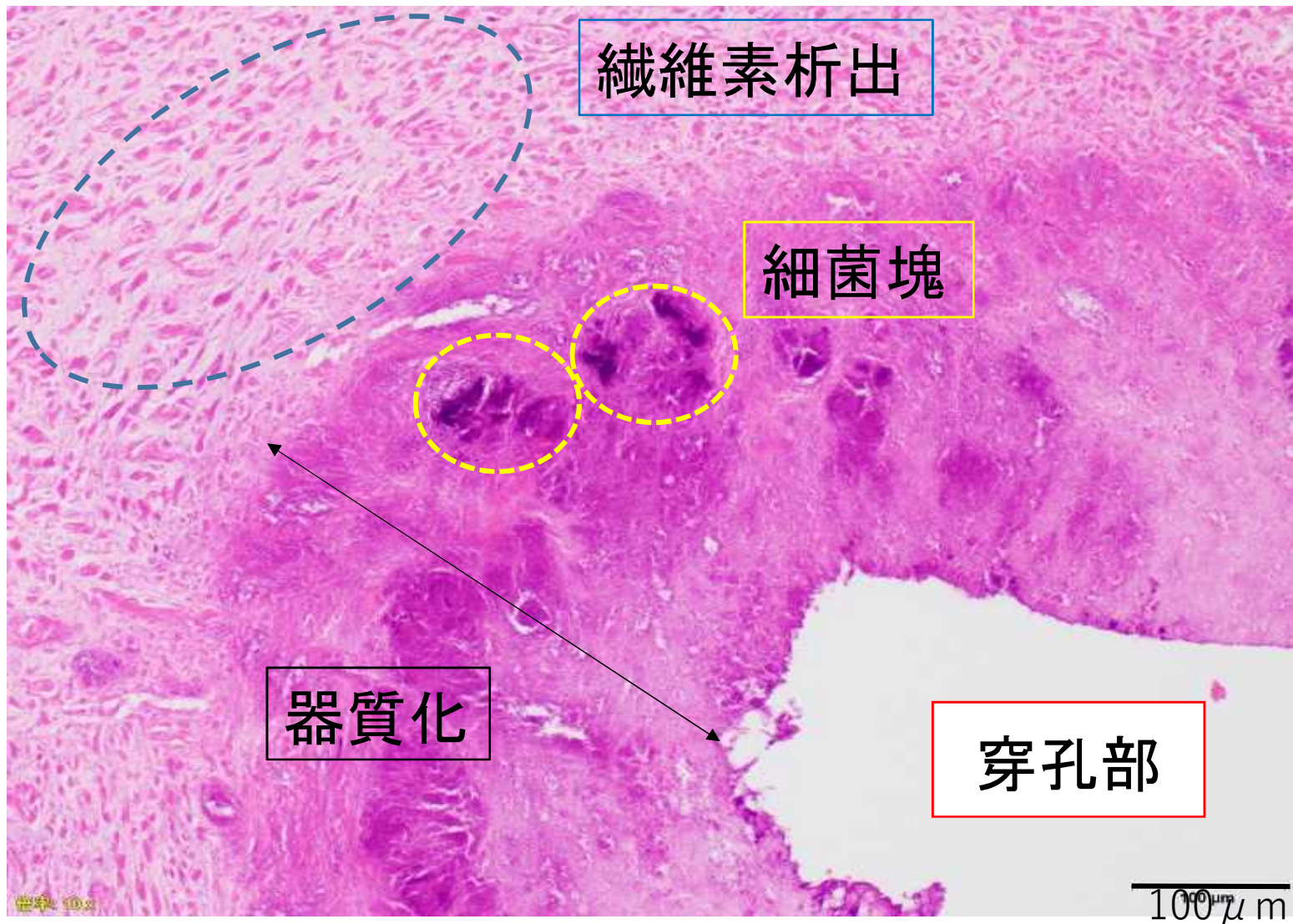


図2: 金属片による穿孔部周囲の病理組織像

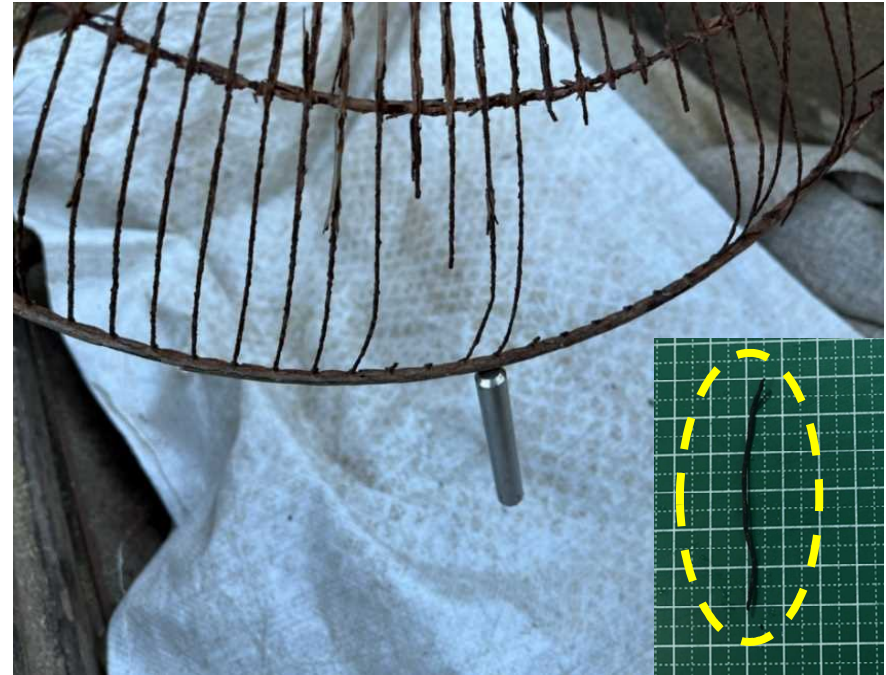


図3: (左)粗飼料運搬車およびその蓋として使用された扇風機のカバー
(右)磁石が付着しているカバーおよび左心室内で発見された金属片の比較



図4: 飼槽に設置されている強力磁石(左)および鉍塩(右)